

令和 4 年度

水 道 事 業 会 計  
【 決 算 概 要 】

令 和 5 年 12 月 6 日

滝 沢 市 上 下 水 道 部



## 令和4年度水道事業会計決算概要

### 1 業務の概要

令和4年度末の給水人口（平均世帯人数による推計値）は、前年度比較で738人減の49,226人となりました。年間総配水量は、前年度比較で94,240m<sup>3</sup>（1.8%）減の5,198,521m<sup>3</sup>となりました。

また、有収水量は4,796,117m<sup>3</sup>で、この結果、有収率は92.3%となり、前年度と同率となりました。施設利用率及び負荷率は前年度より低くなっています。

【表-1】業務概要

区分	年度	令和4年度 ①	令和3年度 ②	比較増減	
				③=①-②	③/②×100
給水人口	A 人	49,226	49,964	△ 738	△ 1.5 %
給水区域内人口	B 人	51,654	52,218	△ 564	△ 1.1 %
給水普及率	A/B %	95.3	95.7	△ 0.38	—
年間総配水量	D m <sup>3</sup>	5,198,521	5,292,761	△ 94,240	△ 1.8 %
年間総有収水量	E m <sup>3</sup>	4,796,117	4,887,381	△ 91,264	△ 1.9 %
有収率	E/D %	92.3	92.3	0.0	—
一日最大配水量	F m <sup>3</sup>	16,087	16,280	△ 193	△ 1.2 %
一日平均配水量	G m <sup>3</sup>	14,243	14,501	△ 258	△ 1.8 %
配水能力	C m <sup>3</sup>	19,860	19,860	0	0.0 %
施設利用率	G/C %	71.7	73.0	△ 1.3	—
負荷率	G/F %	88.5	89.1	△ 0.6	—

### 2 決算の概要

#### (1) 収益的収支

営業収益は、前年度比2.45%減の931,397,080円、営業費用は、1.91%増の823,657,239円で、この結果、営業利益は、前年度比較38,845,798円減（26.50%減）の107,739,841円となりました。

また、営業外収益は、前年度比5.39%減の99,817,331円、営業外費用は、6.04%減の27,024,463円で、この結果、経常利益並びに当期純利益は、前年度比較42,796,841円減（19.16%減）の180,532,709円となりました。

【図-1】収益的収支

単位:円(税抜)

収入	給水収益	受託工事収益・ 他会計負担金・ 加入金・手数料	引当金戻入益 ・長期前受金 戻入益	他会計 補助金	預金利息 ・雑収益
	859,284,059 83.33 %	72,113,021 6.99 %	94,473,863 9.16 %	4,977,000 0.48 %	366,468 0.04 %
1,031,214,411	営業収益 931,397,080 90.32 %	営業外収益 99,817,331 9.68 %			
支出	維持管理費・ その他営業費用	減価償却費・ 資産減耗費	支払利息	雑支出	当期純利益
	387,800,662 45.59 %	435,856,577 51.24 %	26,893,712 3.16 %	130,751 0.02 %	
850,681,702	営業費用 823,657,239 96.82 %	営業外費用 27,024,463 3.18 %			180,532,709 (対収入比 17.51 %)

【表-2】前年度との比較(収益的収支)

収 入

単位:円(税抜)

区 分	令和4年度 A	令和3年度 B	比較増減	
			C=A-B	C/B×100
水道事業収益	1,031,214,411	1,060,327,186	△ 29,112,775	△ 2.75 %
営業収益 A	931,397,080	954,823,090	△ 23,426,010	△ 2.45 %
給水収益	859,284,059	870,094,041	△ 10,809,982	△ 1.24 %
受託工事収益	715,000	0	715,000	皆増 %
その他営業収益※1	71,398,021	84,729,049	△ 13,331,028	△ 15.73 %
営業外収益 B	99,817,331	105,504,096	△ 5,686,765	△ 5.39 %
引当金戻入益	6,619,202	6,225,188	394,014	6.33 %
長期前受金戻入益	87,854,661	93,587,088	△ 5,732,427	△ 6.13 %
他会計補助金	4,977,000	5,389,000	△ 412,000	△ 7.65 %
預金利息・雑収益	366,468	302,820	63,648	21.02 %
特別利益 C	0	0	0	—

※1 内訳：他会計負担金 49,716,177円(うち下水道事業会計経費負担額 49,595,177円)、水道加入金(201件)

支 出

単位:円(税抜)

区 分	令和4年度 A	令和3年度 B	比較増減	
			C=A-B	C/B×100
水道事業費用	850,681,702	836,997,636	13,684,066	1.63 %
営業費用 D	823,657,239	808,237,451	15,419,788	1.91 %
維持管理費	387,333,618	380,255,937	7,077,681	1.86 %
原水及び浄水費	150,921,464	135,171,103	15,750,361	11.65 %
配水及び給水費	51,748,420	48,101,593	3,646,827	7.58 %
受託工事費	650,000	0	650,000	皆増 %
業務費	113,657,625	130,018,352	△ 16,360,727	△ 12.58 %
総係費	70,356,109	66,964,889	3,391,220	5.06 %
減価償却費	425,014,706	406,884,410	18,130,296	4.46 %
資産減耗費	10,841,871	20,677,027	△ 9,835,156	△ 47.57 %
その他営業費用	467,044	420,077	46,967	11.18 %
営業外費用 E	27,024,463	28,760,185	△ 1,735,722	△ 6.04 %
支払利息	26,893,712	28,652,549	△ 1,758,837	△ 6.14 %
雑支出	130,751	107,636	23,115	21.48 %
特別損失 F	0	0	0	—
営業利益 G=A-D	107,739,841	146,585,639	△ 38,845,798	△ 26.50 %
経常利益 H=G+B-E	180,532,709	223,329,550	△ 42,796,841	△ 19.16 %
当期純利益 I=H+C-F	180,532,709	223,329,550	△ 42,796,841	△ 19.16 %

(2) 資本的収支

資本的収支（消費税及び地方消費税込額）については、資本的収入が 113,831,600円、資本的支出が 459,250,351円であり、資本的収入が資本的支出に不足する額 345,418,751円は、減債積立金 110,020,439円、建設改良積立金 111,080,970円、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 25,528,979円、過年度分損益勘定留保資金 98,788,363円で補てんしました。

なお、企業債償還金 140,149,439円となっています。

【図-2】資本的収支

単位:円(税込)

収入	企業債	出資金・負担金	補てん財源	減債積立金	110,020,439
	113,831,600	80,000,000 70.28 %		33,831,600 29.72 %	345,418,751
支出	建設改良費			企業債償還金	
	459,250,351	319,100,912 69.48 %			140,149,439 30.52 %

【表-3】前年度との比較(資本的収支)

単位:円(税込)

区 分	令和4年度 A	令和3年度 B	比較増減	
			C=A-B	C/B×100
資本的収入	113,831,600	82,905,400	30,926,200	37.30 %
企業債	80,000,000	60,000,000	20,000,000	33.33 %
出資金	30,129,000	21,086,000	9,043,000	42.89 %
負担金	3,702,600	1,819,400	1,883,200	103.51 %
工事負担金	1,725,900	0	1,725,900	皆増 %
他会計負担金※1	1,976,700	1,819,400	157,300	8.65 %
資本的支出	459,250,351	648,247,567	△ 188,997,216	△ 29.16 %
建設改良費	319,100,912	496,014,368	△ 176,913,456	△ 35.67 %
営業設備費	62,074,442	35,006,976	27,067,466	77.32 %
水道施設整備費	46,258,630	165,297,566	△ 119,038,936	△ 72.01 %
配水管整備費	210,767,840	295,709,826	△ 84,941,986	△ 28.72 %
企業債償還金	140,149,439	152,233,199	△ 12,083,760	△ 7.94 %

※1 他会計負担金は、消火栓新設・更新に係る一般会計からの基準内繰入金。

### 3 事業の概要

#### (1) 施策目標達成に向けた取組

水道ビジョンに掲げる水道事業の基本理念である『信頼され続ける水道』の実現を目指し、以下の3つの施策目標を定め、各施策の展開を図りました。

なお、これらの施策目標に基づき設定した指標の達成状況や今後の水需要、更新需要予測により課題を抽出し、第3次滝沢市水道事業ビジョン（令和5年度～令和14年度）及び中期経営計画（前期）（令和5年度～令和9年度）を策定しました。

#### 安心・安全・・・安心して飲むことができる安全な水道

##### ・水道施設整備費

「滝沢浄水場ほか動流入流量計等更新工事」ほか3件

##### ・水源の確保と保全

岩手山麓の良質かつ豊富な地下水を保全するため周辺用地の刈払いや土地所有者との意見交換を継続したほか、運転管理業務受託者と連携し、水源の監視と利用を維持しました。

#### 安定・強靱・・・安定した給水を実現する強靱な水道

##### ・配水管整備事業費

「配水管布設替（牧野林地区）工事」ほか4件 布設延長 L=1,348.8m  
「漏水調査業務」 戸別音聴 700戸、路面音聴L=80km 発見箇所 12箇所

##### ・災害応急対策の充実

秋田市での北東北3県合同訓練及び盛岡市との合同で緊急時相互連絡管による応急給水訓練のほか、元村地区において市民を交えた応急給水訓練を実施し、職員の災害、事故等への対応力と防災意識の向上に努めました。

#### 環境・持続・・・環境に配慮した持続可能な水道

##### ・顧客サービスの向上

水道利用者に密着したサービスとして、新たな納付方法のスマートフォンによるコード決済の導入に取り組みました。  
例年実施している施設見学等体験型の啓発活動は、新型コロナウイルス感染症の関係で見合わせ、上下水道事業広報誌「ちゃぐ水だより」の増刊とホームページによる広聴広報活動に努めました。

##### ・官民連携、広域連携の推進

広域連携については、周辺事業体と合同での研修や災害発生を想定した合同訓練の実施など連携の強化を図りました。  
官民連携については「水道施設運転管理業務」において共同での研修による技術の継承や管理レベルの向上を図りました。また、3年間の契約期間満了に伴い契約の更新を行いました。

#### (2) 主な指標の目標値の達成状況

水道ビジョンに掲げる施設整備や事業経営に関する主な指標の目標値及び達成状況は【表-4】のとおりとなっています。

- ・地下水比率は、今年度は0.1ポイント上昇し、98.5%でした。
- ・有収率は、前年度と同程度を維持しました。引き続き、漏水防止対策に取り組むこととしています。
- ・管路耐震化率は、管路全体で0.1ポイントの上昇、幹線管路（口径200mm以上）で0.3ポイント上昇しています。
- ・営業利益、経常利益とも減少し、経営資本営業利益率が0.38ポイント、経常収支比率が5.46ポイント、それぞれ前年度を下回る結果となりました。
- ・給水収益に対する企業債残高の割合については、今年度は4.02ポイント低下しました。

【表-4】指標達成状況

指標名	令和4年度	令和3年度	比較増減	目標値 (令和4年度)	目標値との差
地下水比率 (%)	98.5	98.4	0.1	≧ 98.0	↑ 0.5
有収率 (%)	92.3	92.3	0.0	≧ 92.0	↑ 0.3
管路耐震化率(全線) (%)	34.3	34.2	0.1	≧ 34.5	↓ 0.2
管路耐震適合率(全線) (%)	45.3	45.2	0.1	-	-
管路耐震化率(幹線) (%)	26.2	25.9	0.3	≧ 27.6	↓ 1.4
管路耐震適合率(幹線) (%)	50.0	49.8	0.2	-	-
経営資本営業利益率 (%)	1.01	1.39	△ 0.38	≧ 1.40	↓ 0.39
経常収支比率 (%)	121.22	126.68	△ 5.46	≧ 122.90	↓ 1.68
給水収益に対する企業 債残高の割合 (%)	232.63	236.65	△ 4.02	≦ 224.00	↓ 8.63
給水原価 (円/m <sup>3</sup> )	158.92	152.11	6.81	≦ 187.00	↑ 28.08
供給単価※ (円/m <sup>3</sup> )	179.16	178.03	1.13	166.99	12.17

※ 供給単価の目標値の設定なし。参考値(令和3年度類似団体平均値)。

※ 「目標値との差」において、「↑」は達成、「↓」は未達成。

$$\cdot \text{経営資本営業利益率} = \frac{\text{営業利益}}{\text{経営資本}} \times 100 = \frac{107,739,841}{10,639,631,958} \times 100 = 1.01 \%$$

$$\text{経営資本} = \frac{\text{期首} + \text{期末}}{2} = \frac{10,609,769,446 + 10,669,494,470}{2} = 10,639,631,958 \text{ 円}$$

$$\cdot \text{経常収支比率} = \frac{\text{営業収益} + \text{営業外収益}}{\text{営業費用} + \text{営業外費用}} \times 100 = \frac{1,031,214,411}{850,681,702} \times 100 = 121.22 \%$$

$$\cdot \text{給水収益に対する企業債残高の割合} = \frac{\text{企業債残高}}{\text{給水収益}} \times 100 = \frac{1,998,964,785}{859,284,059} \times 100 = 232.63 \%$$

$$\cdot \text{給水原価} = \frac{(K)}{\text{年間総有収水量}} = \frac{762,177,041}{4,796,117} = 158.92 \text{ 円/m}^3$$

$$(K) = \text{経常費用} - \text{受託工事費} - \text{長期前受金戻入益} \\ = 850,681,702 - 650,000 - 87,854,661 = 762,177,041 \text{ 円}$$

$$\cdot \text{供給単価} = \frac{\text{給水収益}}{\text{年間総有収水量}} = \frac{859,284,059}{4,796,117} = 179.16 \text{ 円/m}^3$$